

[平成21年度設置]

計画の区分：大学の設置

注1

びわこ学院大学

注2

設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 滋賀学園
平成21年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教務部教務課

職名・氏名 カチョウ サワイ フミオ
課長・澤井 三夫

電話番号 0748-22-3388

（夜間） 0748-22-3388

F A X 0748-23-7202

e-mail kyoumu@newton.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は認可申請時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

目 次

1	調査対象大学等の概要等	
(1)	設置者	… 1
(2)	大学名	… 1
(3)	大学の位置	… 1
(4)	管理運営組織	… 1
(5)	調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等	… 2
2	授業科目の概要	
(1)	授業科目表	… 4
(2)	授業科目数	… 8
(3)	未開講科目	… 9
(4)	廃止科目	… 9
(5)	授業科目を未開講又は廃止したことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	… 9
(6)	「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合	… 9
3	施設・設備の整備状況、経費	
(1)	校地等	… 10
(2)	校舎	… 10
(3)	教室等	… 10
(4)	専任教員研究室	… 10
(5)	図書・設備	… 10
(6)	図書館	… 10
(7)	体育館	… 10
(8)	経費の見積り及び維持方法の概要	… 10
4	既設大学等の状況	… 11
5	教員組織の状況	
(1)	担当教員表	… 12
(2)	専任教員数	… 17
(3)	専任教員交代の理由	… 17
(4)	専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	… 18
6	留意事項に対する履行状況等	… 19
7	その他全般的事項	
(1)	設置計画変更事項等	… 20
(2)	教員の資質の維持向上の方策（FD活動を含む）	… 20
(3)	自己点検・評価等に関する事項	… 21
(4)	情報提供に関する事項	… 22
<添付>	びわこ学院大学 自己点検・評価委員会規程	
	びわこ学院大学 ファカルティ・ディベロップメント委員会規程（案）	

大学等設置に係る設置計画履行状況報告書

※

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学 校 法 人 滋 賀 学 園

(2) 大学名

び わ こ 学 院 大 学

(3) 大学の位置

〒527-8533
滋賀県東近江市布施町29番地

(4) 管理運営組織

職 名	認 可 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(モリ ミワコ) 森 美和子 (平成8年4月)		
学 長	(ムラサワ タダシ) 村澤 忠司 (平成21年4月)		
学 部 長	(チハラ タカシ) 千原 孝司 (平成21年4月)		
学科長等	該当なし		

(注) 『(3) 大学の位置』は、申請学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

『(4) 管理運営組織』の「変更状況」欄は、変更があった場合のみ記入し、併せて「備考」欄に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 → (19)

平成21年度に報告する内容 → (21)

※ 「留意事項報告書」の場合は、タイトルを修正してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は, 平成18年度開設の場合(平成21年度までの4年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	認可時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育福祉学部 子ども学科 学士 (子ども学)	4年	80人	3年次 10人	340人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平均入学定員超過率	備考
A 入学定員		(-)人	(-)人	(-)人	80人	0.66倍	
志願者数		(-)	(-)	(-)	(-)		
受験者数		(-)	(-)	(-)	(-)		
合格者数		(-)	(-)	(-)	(-)		
B 入学者数		(-)	(-)	(-)	(-)		
入学定員超過率 B/A		(-)	(-)	(-)	(-)		
		-	-	-	0.66		

- (注) 1 ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を備考欄に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	備考
1年次		[-]	[-]	[-]	[-]	
2年次		/	[-]	[-]	[-]	
3年次		/	/	[-]	[-]	
4年次		/	/	/	[-]	
計		[-]	[-]	[-]	[-]	
		-	-	-	53	

- (注) 1 []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成18年度	計 [-] —	計 [-] —	[-] — %
	うち平成18年度入学者 — 人	うち平成18年度 — 人	
	(主な退学理由)		
平成19年度	計 [-] —	計 [-] —	[-] — %
	うち平成18年度入学者 — 人	うち平成18年度 — 人	
	うち平成19年度入学者 — 人	うち平成19年度 — 人	
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 [-] —	計 [-] —	[-] — %
	うち平成18年度入学者 — 人	うち平成18年度 — 人	
	うち平成19年度入学者 — 人	うち平成19年度 — 人	
	うち平成20年度入学者 — 人	うち平成20年度 — 人	
(主な退学理由)			
平成21年度	計 [-] 0	計 [-] 53	[-] 0.00 %
	うち平成18年度入学者 — 人	平成18年度 — 人	
	うち平成19年度入学者 — 人	平成19年度 — 人	
	うち平成20年度入学者 — 人	平成20年度 — 人	
	うち平成21年度入学者 0 人	平成21年度 53 人	
(主な退学理由)			

(注)1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下
- ・学力不足
- ・他の教育機関への入学・転学
- ・海外留学
- ・就職
- ・学生個人の心身に関する事情
- ・家庭の事情
- ・除籍
- ・その他

(例)今年度完成年度を迎える大学

一般的には、平成21年度欄については、入学後1か月程度しか経過していないため、退学者数は「0」や少数であることが想定されます。また、平成18、19年度は原則として昨年度の報告書と同様の記載となります。

2 授業科目の概要

＜教育福祉学部 子ども学科＞

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	社会の理解	人権教育	1春	2								
		法と社会(日本国憲法)	2秋		2							
		社会科学入門	1春		2							
		家族社会学	3春		2				1			
		社会調査論	1秋		2		1					
		経済学	1春		2							
	自然の理解	滋賀の環境	1秋	2			0					専任(教授)教員就任辞退により、 担当を兼任講師に変更(21) 担当 遠藤修一(兼任講師)
		自然科学入門	2春		2		1					
		微生物学	2秋		2							
		生命と科学	4秋		2		1					
		医学概論(公衆衛生学・予防医学を含む)	2春		2							
		物理学入門	3秋		2		1					
	人間・文化の理解	基礎心理学	1秋 1春		2		1					科目担当予定者の就任辞退により 担当を専任とすることに伴う申請の ため、21年度のみ配当年次を変更 (21) 担当 千原孝司(教授) 平成21年6月 提出予定
		宗教学	4秋		2							
		哲学と人間	4春		2							
		地域歴史学	1秋		2							
		生活科学入門	1秋		2							
		国際文化論	2春		2				1			
	ことば・情報	基礎英語Ⅰ	1春	2								
		基礎英語Ⅱ	1秋	2								
		英会話Ⅰ	1秋		2							
		英会話Ⅱ	2春		2							
		中国語会話Ⅰ	1秋		2				1			
		中国語会話Ⅱ	2春		2				1			
		ポルトガル語会話Ⅰ	1秋		2							
		ポルトガル語会話Ⅱ	2春		2							
		手話・要約筆記演習	1春		1							
点字・ガイドヘルプ演習		1春		1								
情報処理	情報処理論	1春		2			1					
	情報倫理論	1秋		2								
	情報処理演習Ⅰ	1春	1				1					
	情報処理演習Ⅱ	1秋	1				1					
大学入門	スタディ・スキルズ	1春	1				1	1				
	キャリアデザインⅠ	2春		1		1	1	2				
	キャリアデザインⅡ	2秋		1		1	1	2				
健康	運動の科学	1秋		2				1				
	体育実技Ⅰ	1春		1				1				
	体育実技Ⅱ	4春		1				1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 教育科目	学科 コア科目	教育福祉学	1春	2			1		1			<p>教育効果を考慮し、配当年次を変更(21)</p> <p>教育効果を考慮し、配当年次を変更(21)</p> <p>教育効果を考慮し、配当年次を変更(21)</p> <p>関係官庁の指導により、科目名称を変更(21) カリキュラムの充実を目的として、科目担当教員を追加(21)</p> <p>担当 千原孝司(教授) 高橋里玄(教授) 大江秀雄(教授) 西馬三郎(教授) 長嶺共全(准教授) 逢 軍(講師) 奥田愛子(講師) 平成21年6月 提出予定</p> <p>関係官庁の指導により、科目名称を変更(21) カリキュラムの充実を目的として、科目担当教員を追加(21)</p> <p>担当 千原孝司(教授) 高橋里玄(教授) 大江秀雄(教授) 西馬三郎(教授) 長嶺共全(准教授) 逢 軍(講師) 奥田愛子(講師) 平成21年6月 提出予定</p>
		子ども学総論	1秋	2			1	1	1			
		子ども教育学概論	1春		2					1		
		子ども教育学概論(養護)	1秋 1春		2					1		
		発達心理学	1秋		2							
		教育心理学	1秋 1春		2		1					
		教育心理学(養護)	2春 1秋		2		1					
		人間福祉概論	1秋		2		1					
		子ども福祉学概論	1春		2							
		総合演習 子ども学総合演習	3通		2		10 6	5 4	5 3			
		総合演習(養護) 子ども学総合演習(養護)	3通		2				1			
		子ども学卒業研究	4通		2		10 6	6 5	5 3			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	子ども教育 基幹科目	教職概論	1秋		2				1			教育効果を考慮し、配当年次を変更(21)	
		教職概論(教職)	2春 1秋		2				1				
		子どもの心理	1秋		2		1						
		障害児教育学	2秋		2			1					
		教育課程論	2秋		2								
		教育課程論(養護)	3春 2秋		2						1		教育効果を考慮し、配当年次を変更(21)
		地域・家庭連携論	2春		2								
		幼児理解論	1秋		2								
		教育相談論	2秋		2				1				
		教育相談論(養護)	3春 2秋		2				1				教育効果を考慮し、配当年次を変更(21)
	子ども教育 展開科目	子どもと読み書き	2春		2		1					教育効果を考慮し、配当年次を変更(21)	
		子どもと数	2春		2				1				
		子どもと遊び	3秋		2								
		子どもと音楽 I	1秋～2春		2								
		子どもと音楽 II	2秋～3春		2								
		子どもと図画工作 I	1秋～2春		2		1						
		子どもと図画工作 II	3秋～4春		2		1						
		子どもと運動	2秋～3春		2			1					
		道徳教育指導論	2秋		2					1			
		道徳教育指導論(養護)	3春 2秋		2					1			
		特別活動論	2秋		2					1			
		特別活動論(養護)	3春 2秋		2					1			教育効果を考慮し、配当年次を変更(21)
		教育方法学	3秋		2					1			
		教育方法学(養護)	4春 3秋		2					1			教育効果を考慮し、配当年次を変更(21)
		教育行政学	3春		2					1			
		教育行政学(養護)	3秋 3春		2					1			教育効果を考慮し、配当年次を変更(21)
		教育情報学	3秋		2		1						
		生徒・進路指導論	3春		2					1			
		生徒・進路指導論(養護)	3秋 3春		2					1			教育効果を考慮し、配当年次を変更(21)
		生涯学習論	4秋		2					1			
学校保健論	3秋		2				1						
健康相談論	3秋		2					1					
衛生学	2秋		2										
養護概説	3春		2				1						
解剖生理学	2秋		2										
免疫・薬理学	3秋		2										
精神保健学	2秋		2										
基礎看護学	2春		4		1	1							
救急医学論	3秋		2										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	子ども福祉基幹科目	保育原理総論	2春		4							
		養護原理総論	1秋		2							
		現代社会と福祉Ⅰ	1秋		2			1				
		地域福祉論	2春		4		1					
		障害児保育学	2秋		2		1					
	子ども福祉展開科目	現代社会と福祉Ⅱ	2春		2			1				
		社会保障論	2春		4			1				
		公的扶助論	3秋		4			1				
		家族援助論	1秋		2							
		子どもの健全育成論Ⅰ	3春		2							
		子どもの健全育成論Ⅱ	3秋		2							
		食育論(食品学を含む)	1秋		2							
		子どもの食事	3通		2							
		子どもの保健	1秋		4							
		子どもの保健実習	2春・2秋		1							
		保育指導法総論	3通		2			1				
		保育計画論	3秋		2			1				
		子どもと環境	2秋～3春		2			1				
		子どもと健康	2通		2				1			
		子どもと人間関係	2通		2							
		子どもと言葉	2秋～3春		2							
		子どもと表現	2秋～3春		2							
		乳児保育演習Ⅰ	2春		1							
		乳児保育演習Ⅱ	2秋		1							
		障害児・者福祉論	2春		4			1	1			
		障害児保育演習	3春		1			1				
		養護内容演習	2春		1							
		音楽療法演習	4秋		1							
		遊戯療法演習	3秋		2							
		言語療法演習	3春		1							
		社会福祉援助技術論	2秋		4							
		社会福祉援助技術演習Ⅰ	2秋		2							
社会福祉援助技術演習Ⅱ	3春		2				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	発展科目	教職実践演習		2		1		1			
		教科教育法 国語	2秋	2		1					
		教科教育法 社会	2秋	2							
		教科教育法 算数	2秋	2							
		教科教育法 理科	3春	2							
		教科教育法 生活	3春	2			1				
		教科教育法 音楽	3春	2							
		教科教育法 図画工作	3秋	2							
		教科教育法 家庭	3春	2							
		教科教育法 体育	2秋	2					1		
		総合的学習の研究(介護等体験を含む)	3春	2				2			
		教育実習指導(小学校)	3春	1			2		2		
		教育実習(小学校)	3春	4			2		2		
		上級教育実習(小学校)	4春	2			2		2		
		教育実習指導(幼稚園)	3春	1				1			
		教育実習(幼稚園)	3春	4				1			
		上級教育実習(幼稚園)	4春	2				1			
		看護技術演習	3通	2			1	1			
		看護臨床実習	3秋	2			1	1			
		養護実習指導	4春	1			1	1	1		
		養護実習	4春	4			1	1	1		
		保育実践演習	3春	1				1			
		保育実習指導	2秋~3春	1			1	2			
		保育実習Ⅰ(施設)	2秋	2			1	2			
		保育実習Ⅰ(保育所)	3春	2			1	2			
		保育実習Ⅱ	4春	2			1	2			
保育実習Ⅲ	4春	2			1	2					

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 13	科目 136	科目 0	科目 149	科目 [0]	科目 [0]	科目 [0]	科目 [0]	変更なし

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当事項なし

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置認可申請書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え直し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。
なお、昨年度の報告において朱書きで見え消した部分については、黒字で記載してください。
- 3 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の提出日等を「備考」に記入してください。(今後、審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- 4 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に差し引き数を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)
- 5 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 6 「(4) 廃止科目」は、認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 7 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 8 「(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	びわこ学院大学短期大 学部と共用			
	校舎敷地	0 m ²	3,573 m ²	0 m ²	3,573 m ²				
	運動場用地	0 m ²	6,741 m ²	0 m ²	6,741 m ²				
	小 計	0 m ²	10,314 m ²	0 m ²	10,314 m ²				
	そ の 他	0 m ²	10,337 m ²	0 m ²	10,337 m ²				
	合 計	0 m ²	20,651 m ²	0 m ²	20,651 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	びわこ学院大学短期大 学部と共用			
		1,424 m ² (1,424 m ²)	5,298 m ² (5,298 m ²)	185 m ² (185 m ²)	6,907 m ² (6,907 m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		8 室	5 室	20 室	2 室 (補助職員 1 人)	1 室 (補助職員 - 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		教育福祉学部			21 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 図書24,069冊[1,478冊] 学術雑誌39種[2種]	
	教育福祉学部	26,000 [1,800] (24,794 [1,667])	70 [15] (60 [9])	8 [8] (5 [5])	730 (688)	9,000 (8,786)	70 (62)		
	計	26,000 [1,800] (24,794 [1,667])	70 [15] (60 [9])	8 [8] (5 [5])	730 (688)	9,000 (8,786)	70 (62)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
		1,098 m ²		156 席	70000 冊				
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		879 m ²		テ ニ ス コ ー ト 2 面 -					
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。
		教員1人当り研究費等	350千円	350千円	図書購入費	8,000千円	3,620千円	3,900千円	
	共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	132,000千円	2,920千円	2,700千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,280千円	1,050千円	1,050千円	1,050千円	-千円	-千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入等						

- (注) 1 認可時の計画を設置認可申請書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。
2 複数のキャンパスに分かれている場合は、キャンパス毎に作成してください。
3 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を備考欄に記入してください。
4 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。
なお、昨年度の報告において朱書きで見え消した部分については、黒字で記載してください。
5 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「別紙様式2」により、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	びわこ学院大学短期大学部							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
生活文化学科	2年	50人	- 人	50人	短期大学士 (生活文化学)	-	平成2年度	滋賀県東近江市布施町29	平成21年度から学生募集停止
人間福祉学科 介護福祉専攻	2	80	- 人	80	短期大学士 (社会福祉学)	-	平成6年度	滋賀県東近江市布施町29	平成21年度から学生募集停止
人間福祉専攻	2	50	- 人	50	短期大学士 (社会福祉学)	-	平成6年度	滋賀県東近江市布施町29	平成21年度から学生募集停止
児童福祉専攻	2	80	- 人	80	短期大学士 (社会福祉学)	-	平成10年度	滋賀県東近江市布施町29	平成21年度から学生募集停止
ライフデザイン学科 (介護福祉コース)	2	100 (40)	- 人	100 (40)	短期大学士 (家政学) 短期大学士 (社会福祉学)	0.69 (0.97)	平成21年度 平成21年度	滋賀県東近江市布施町29 滋賀県東近江市布施町29	平成21年度開設 平成21年度開設
		360		360		0.69			

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、すでに設置している大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、状況を記入してください。

(大学院及び短期大学の専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

2 認可申請書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。

3 「定員超過率」欄には、各修業年限に相当する期間(学年進行中の場合は、設置後経過した年数分)における入学定員超過率の平均を記入してください。

入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

なお、学生募集停止中の学部等については、「-」を記入するとともに、「備考」欄に「平成〇年度から学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<教育福祉学部 子ども学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	千原 孝司 (66歳)	平成21年4月	子ども学総論※ 教育心理学 教育心理学(養護) 教育情報学 子どもの心理	専任	教授	千原 孝司 (66歳)	平成21年4月	子ども学総論※ 教育心理学 教育心理学(養護) 教育情報学 子どもの心理 基礎心理学 総合演習 子ども学卒業研究	平成21年3月 福田香苗兼任講師 就任辞退 による担当者の変更 平成21年7月 変更書提出予定(21) カリキュラム充実のため、 担当科目を追加 平成21年7月 変更書提出予定(21)
専任	教授	秋元 幸茂 (74歳)	平成21年4月	総合演習 子ども学卒業研究 子どもと図画工作Ⅰ 子どもと図画工作Ⅱ						
専任	教授	中西 正己 (71歳)		滋賀の環境 総合演習 子ども学卒業研究 教科教育法 生活※ 教育実習指導(小学校) 教育実習(小学校) 上級教育実習(小学校)	兼任	講師	遠藤 修一 (59歳) 後任未定 後任未定 後任未定 後任未定 後任未定	平成21年10月	滋賀の環境	平成21年3月 中西正己(教授) 就任辞退 による担当者の変更(21) 「後任未定」 平成23年4月 専任教員採用予定(21)
専任	教授	高橋 里亥 (67歳)	平成22年4月	基礎看護学※ 看護技術演習 看護臨床実習 養護実習指導 養護実習	専任	教授	高橋 里亥 (67歳)	平成22年4月	基礎看護学※ 看護技術演習 看護臨床実習 養護実習指導 養護実習 総合演習 子ども学卒業研究	カリキュラム充実のため、 担当科目を追加 平成21年7月 変更書提出予定(21)
専任	教授	大江 秀雄 (64歳)	平成22年4月	自然科学入門 生命と科学	専任	教授	大江 秀雄 (64歳)	平成22年4月	自然科学入門 生命と科学 総合演習 子ども学卒業研究	カリキュラム充実のため、 担当科目を追加 平成21年7月 変更書提出予定(21)
専任	教授	田中 博一 (64歳)	平成22年4月	人間福祉概論 総合演習 子ども学卒業研究						
兼任	講師	田中 博一 (64歳)	平成21年10月	人間福祉概論						
専任	教授	西馬 三郎 (63歳)	平成21年4月	物理学入門	専任	教授	西馬 三郎 (63歳)	平成21年4月	物理学入門 総合演習 子ども学卒業研究	カリキュラム充実のため、 担当科目を追加 平成21年7月 変更書提出予定(21)
専任	教授	位藤 紀美子 (63歳)	平成21年4月	総合演習 子ども学卒業研究 子どもと読み書き 教職実践演習 教科教育法 国語 教育実習指導(小学校) 教育実習(小学校) 上級教育実習(小学校)						

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専任	教授	遠藤 六朗 (63歳)	平成22年4月	障害児保育学 総合演習 子ども卒業研究 障害児保育演習 障害児・者福祉論※						
専任	教授	平尾 良治 (51歳)	平成22年4月	社会調査論 キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 教育福祉学※ 総合演習 子ども卒業研究 地域福祉論 保育実習指導 保育実習(施設) 保育実習(保育所) 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ						
兼任	講師	平尾 良治 (51歳)	平成21年4月	教育福祉学※ 社会調査論						
専任	准教授	村西 美恵子 (64歳)	平成23年4月	総合演習(養護) 子ども卒業研究 学校保健論 養護概説 基礎看護学※ 総合的学習の研究 (介護等体験を含む) 看護技術演習 看護臨床実習 養護実習指導 養護実習						
兼任	講師	村西 美恵子 (64歳)	平成22年4月	基礎看護学※						
専任	准教授	西川 正晃 (46歳)	平成22年4月	保育指導法総論 子どもと環境 総合演習 子ども卒業研究 教育実習指導(幼稚園) 教育実習(幼稚園) 上級教育実習(幼稚園)						
専任	准教授	安田 誠人 (41歳)	平成21年4月	子ども学総論※ 障害児教育学 教育相談論 教育相談論(養護) 総合演習 子ども卒業研究 障害児・者福祉論※ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 総合的学習の研究 (介護等体験を含む) 保育実習指導 保育実習(施設) 保育実習(保育所) 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ						
専任	准教授	烏野 猛 (40歳)	平成21年4月	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 総合演習 子ども卒業研究 現代社会と福祉Ⅰ 社会保障論 現代社会と福祉Ⅱ 公的扶助論						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	准教授	上月 智晴 (40歳)	平成21年4月	子どもと運動 総合演習 子ども卒業研究 保育計画論 保育実践演習 保育実習指導 保育実習(施設) 保育実習(保育所) 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ						
専任	准教授	長嶺 共全 (38歳)	平成21年4月	情報処理論 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ スタディ・スキルズ	専任	准教授	長嶺 共全 (38歳)	平成21年4月	情報処理論 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ スタディ・スキルズ 総合演習 子ども卒業研究	カリキュラム充実のため、 担当科目を追加 平成21年7月 変更書提出予定(21)
専任	講師	仁木 幸男 (63歳)	平成22年4月	総合演習 子ども卒業研究 子どもと数 道徳教育指導論 道徳教育指導論(養護) 特別活動論 特別活動論(養護) 生徒・進路指導論 生徒・進路指導論(養護) 教職実践演習 養護実習指導 養護実習						
専任	講師	逢 軍 (47歳)	平成21年4月	家族社会学 国際文化論 中国語会話Ⅰ 中国語会話Ⅱ スタディ・スキルズ	専任	講師	逢 軍 (47歳)	平成21年4月	家族社会学 国際文化論 中国語会話Ⅰ 中国語会話Ⅱ スタディ・スキルズ 総合演習 子ども卒業研究	カリキュラム充実のため、 担当科目を追加 平成21年7月 変更書提出予定(21)
専任	講師	奥田 愛子 (43歳)	平成21年4月	運動の科学 体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ 子どもと健康 健康相談論 教科教育法 体育 教育実習指導(小学校) 教育実習(小学校) 上級教育実習(小学校)	専任	講師	奥田 愛子 (43歳)	平成21年4月	運動の科学 体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ 子どもと健康 健康相談論 教科教育法 体育 教育実習指導(小学校) 教育実習(小学校) 上級教育実習(小学校) 総合演習 子ども卒業研究	カリキュラム充実のため、 担当科目を追加 平成21年7月 変更書提出予定(21)
専任	講師	宮坂 朋幸 (36歳)	平成22年4月	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 教育福祉学※ 子ども学総論※ 子ども教育学概論 子ども教育学概論(養護) 教職概論 教職概論(養護) 総合演習 子ども卒業研究						
兼任	講師	宮坂 朋幸 (36歳)	平成21年4月	教育福祉学※ 子ども学総論※ 子ども教育学概論 教職概論						

認可時の計画				変更状況				備考					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名			
専任	講師	浅田 昇平 (32歳)	平成21年4月	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 教育行政学 教育行政学(養護) 地域・家庭連携論 総合演習 子ども学卒業研究 生涯学習論 教育方法学 教育方法学(養護) 教育実習指導(小学校) 教育実習(小学校) 上級教育実習(小学校)									
兼任	講師	川嵐 順次郎 (72歳)	平成21年4月	人権教育									
兼任	講師	渡邊 暁彦 (38歳)	平成22年10月	法と社会(日本国憲法)									
兼任	講師	角 省三 (62歳)	平成21年4月	社会科学入門									
兼任	講師	新祖 隆志郎 (32歳)	平成21年4月	経済学									
兼任	講師	新屋 久幸 (51歳)	平成22年4月	医学概論(公衆衛生学・予防医学を含む) 衛生学 解剖生理学 救急医学論									
兼任	講師	雨貝 孝 (62歳)	平成22年10月	微生物学 免疫・薬理学									
兼任	講師	福田 香苗 (54歳)	平成21年4月	基礎心理学 発達心理学	専任 教授	千原 孝司 (66歳)	平成21年10月	基礎心理学	兼任 講師	福田 香苗 (54歳)	平成21年10月	発達心理学	平成21年3月 福田香苗兼任講師就任辞退による担当者の変更 平成21年7月 変更書提出予定(21)
兼任	講師	藤田 正浩 (53歳)	平成24年4月	宗教学 哲学と人間									
兼任	講師	中島 伸男 (74歳)	平成21年10月	地域歴史学									
兼任	講師	谷口 浩志 (53歳)	平成21年10月	生活科学入門									
兼任	講師	深井 恵純 (62歳)	平成21年4月	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ									
兼任	講師	Jason Baynes (35歳)	平成21年10月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ									
兼任	講師	竹屋 久美子 (53歳)	平成21年10月	ポルトガル語会話Ⅰ ポルトガル語会話Ⅱ									
兼任	講師	原田 直子 (55歳)	平成21年4月	手話・要約筆記演習									
兼任	講師	前田 眞里 (43歳)	平成21年4月	点字・ガイドヘルプ演習									
兼任	講師	岡野 幸夫 (64歳)	平成21年10月	情報倫理論									
兼任	講師	山口 桂子 (69歳)	平成22年4月	保育原理総論									
兼任	講師	斎藤 文夫 (61歳)	平成21年10月	養護原理総論 養護内容演習									
兼任	講師	岸本 実 (48歳)	平成22年10月	教育課程論 教育課程論(養護) 教科教育法 社会 教科教育法 生活※									

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	杉本 栄子 (54歳)	平成21年10月	幼児理解論 子どもと人間関係 教育実習指導(幼稚園) 教育実習(幼稚園) 上級教育実習(幼稚園) 保育実習指導 保育実習(施設) 保育実習(保育所) 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ						
兼任	講師	奥田 援史 (46歳)	平成23年10月	子どもと遊び						
兼任	講師	岡本 仁司 (54歳)	平成21年10月	子どもと音楽Ⅰ 子どもと音楽Ⅱ 音楽療法演習						
兼任	講師	佐野 晴美 (53歳)	平成21年10月	子どもと音楽Ⅰ 子どもと音楽Ⅱ						
兼任	講師	藤川 順子 (39歳)	平成21年10月	子どもと音楽Ⅰ 子どもと音楽Ⅱ						
兼任	講師	嶺尾 圭子 (38歳)	平成21年10月	子どもと音楽Ⅰ 子どもと音楽Ⅱ						
兼任	講師	黄 恵 (54歳)	平成21年10月	子どもと音楽Ⅰ 子どもと音楽Ⅱ						
兼任	講師	勝見 聡子 (41歳)	平成21年10月	子どもと音楽Ⅰ 子どもと音楽Ⅱ						
兼任	講師	甘佐 京子 (46歳)	平成22年10月	精神保健学						
兼任	講師	片山 弘紀 (36歳)	平成22年10月	社会福祉援助技術論 社会福祉援助技術演習Ⅰ						
兼任	講師	小野 朋子 (38歳)	平成22年4月	障害児・者福祉論※ 遊戯療法演習						
兼任	講師	岡本 朝也 (39歳)	平成21年10月	家族援助論						
兼任	講師	大和 明子 (64歳)	平成23年4月	子どもの健全育成論Ⅰ 子どもの健全育成論Ⅱ						
兼任	講師	馬引 美香 (32歳)	平成21年10月	食育論(食品学を含む) 子どもの食事						
兼任	講師	長谷川 久子 (55歳)	平成21年10月	子どもの保健						
兼任	講師	荒川 育美 (54歳)	平成22年4月	子どもの保健実習						
兼任	講師	渋谷 郁子 (28歳)	平成22年10月	子どもと言葉						
兼任	講師	久保 修三 (63歳)	平成22年10月	子どもと表現						
兼任	講師	栗山 恒子 (66歳)	平成22年4月	乳児保育演習Ⅰ 乳児保育演習Ⅱ						
兼任	講師	中谷 芽 (43歳)	平成23年4月	言語療法演習						
兼任	講師	吉弘 淳一 (47歳)	平成21年4月	子ども福祉学概論 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ						

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画						変 更 状 況						備 考
教 授	准教授	講 師	助 教	計	助 手	教 授	准教授	講 師	助 教	計	助 手	
10	6	5	0	21	0	9	6	5	0	20	0	
(9)	(6)	(5)	(0)	(21)	(0)	[Δ1]	[]	[]	[]	[Δ1]	[]	

(3) 専任教員交代の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	中西 正己	一身上の都合による就任辞退
2			以下空欄
3			

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当該教員の就任辞退は、学生の履修上への影響も少なからずあるものと考え、今年度中に代替教員を採用することにより、その影響も最小限度に抑えられるものと判断している。学生には、学内掲示板を通じて担当者変更の周知を行うこととしている。

- (注) 1 「(1) 担当教員表」は、認可申請書の様式第3号(その1)に準じて作成してください。
なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈表題〉を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- 2 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。
なお、昨年度の報告において朱書きで見え消しした部分については、黒字で記載してください。
(記入例参照)
- 3 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- 4 退職者は「備考」欄に退職年月、理由を記入してください。
- 5 年齢は、就任年度に関わりなく、「認可時の計画」欄には、開設時現在の満年齢を、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- 6 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は「後任未定」及び今後の採用計画を「備考」欄に記入してください。また、「専任教員採用等変更書(A C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「〇年〇月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。前判定があり審査が不要となる教員についてはその前判定とその授業科目名称をそれぞれ「備考」欄に()書きで記入してください。(記入例参照)
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」欄に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
- 7 「(2) 教員数」の「認可時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在(就任年月に達していない者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に差し引き数を記入してください。
(記入例：1名減の場合：△1)
- 8 「(3) 専任教員交代の理由」欄には、認可時の計画からの専任教員交代の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- 9 「(4) 専任教員交代に係る大学の所見」欄には、専任教員交代に係る学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (20年11月)	設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	21 申請書に記載した設置の趣旨・目的の確実な履行に向けて努めていく。 なお、平成21年度において専任及び兼任教員各1名の就任辞退があったことにとともに、科目担当の一部を変更したが、専任教員の後任については、平成23年4月採用を前提に、現在、選考を進めているところである。 教育・研究活動の向上にあたっては、自己点検・評価委員会（FD委員会の設置後はFD委員会が所管）が中心となつて、教育方法の組織的な改善に取り組むとともに、研究活動においては、平成21年度に設置した「総合教育支援センター」「子ども文化研究センター」「地域連携研究センター」の支援の下、学内外における研究を推進し、これらの活動を通じて水準の向上に努めることとしている。	FD委員会については、遅くとも平成22年4月までに設置し、教員の資質の維持向上に努めることとしている。
設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (23年1月)	該当なし		

- (注) 1 「認可時」欄には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度（丸数字）を付記してください。
- 2 「設置計画履行状況調査時」欄には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- 3 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- 4 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<教育福祉学部 子ども学科>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>設置の趣旨 2. 学部学科等の特色 (3) 地域社会との連携・協力・協働 「子育て研究センター」を設置し、① 子育て相談・発達相談、② 教育、保育者の研修や相談、③ 子育て支援活動、④ 子どもに関する研究とその情報発信を通して、地域に開かれた子育て・子育て支援の場を提供するとともに、その特徴を活かしてより実践的な子どもに関する教育研究を行うこととする。</p> <p>「子育て研究センター」「総合企画室」を図書館棟内に設ける。</p>	<p>教育研究機関としての機能の整備・拡充をはかるため、3つの研究センターを設けることとした。</p> <p>i) 「総合教育支援センター」を設置し、①地域の教育に関すること、②学生の実習に関すること、③教員採用試験等の対策に関すること、④教員免許更新制度に関すること等を行うこととした。</p> <p>ii) 「子ども文化研究センター」を設置し、① 子育て相談・発達相談、② 保育者の研修や相談、③ 子育て支援活動、④ 子どもに関する研究とその情報発信を通して、地域に開かれた子育て・子育て支援の場を提供するとともに、その特徴を活かしてより実践的な子どもに関する教育研究を行うこととした。</p> <p>iii) 「地域連携研究センター」を設置し、①自治体との協働事業推進に関すること、②高大連携推進に関すること、③地元企業や諸団体との共同事業の開催に関すること等を通して、地域連携の推進をはかることとした。</p> <p>②上記①にともない、当初予定していた「子育て研究センター」室に「総合教育支援センター」を配置、「総合企画室」を「子ども文化研究センター」「地域連携研究センター」として図書館棟内に配置することとした。また、「総合企画室」は「総合企画部」として、本館棟事務所に配置することとした。</p>

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 添付『自己点検・評価委員会規程』『FD委員会規程（案）』</p> <p>設置認可申請においては、FD委員会を設置することとしていたが、開設年度で、教員体制が完全でないことから、今年度については「自己点検・評価委員会」を設置し、その所管としてFD活動を含む教員の資質の維持向上の方策について、企画・立案、実施することとしている。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>月1回の委員会を定例とし、必要に応じて臨時委員会を開催することとしている。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>委員会が審議する事項は、「自己点検・評価に関すること」「外部評価に関すること」「相互評価に関すること」「第三者評価に関すること」「教員研修（FD）の実施に関すること」等としている。</p> <p>② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。</p> <p>a 実施内容（計画）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業方法改善のための講演会、研修会の開催 ・ 相互授業参観による授業研究会の開催 ・ 授業評価アンケートの実施 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業方法改善のための研修会・・・全ての教員（非常勤講師は任意）を対象とし、年度内に2回開催（1回は外部講師を招いて行う講演会。1回は教員相互の意見交換を主として行う研修会。）することとしている。 ・ 授業評価アンケート・・・期末に実習及び受講者が少数の授業を除き、原則として全科目を対象にアンケートを実施することとしている。アンケートの結果は、教員各自にフィードバックし、各教員から結果を受けてのコメントを求めることとしている。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>今年度が開設年度であり、現時点においては未だ実施に至っていない。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>今年度が開設年度であり、現時点においては未だ実施に至っていない。</p>

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は、平成21年度開設のため、平成22年度以降に報告予定。
本年度は、申請書に従い適正に遂行する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成22年10月1日 公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣大学及び県下の高等学校に各1冊を配布（予定）
・大学ホームページ上に公開予定（平成22年10月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・今年度が開設年度であり、然るべき時期に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、本年度より準備を進めることとしている。

(4) 情報提供に関する事項

① 設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ ~~無~~)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成 21 年 4 月 21 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ ~~承諾しない~~)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.newton.ac.jp/bgu/pdf/daigaku.pdf>)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (~~有~~ ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成 21 年 7 月 1 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ ~~承諾しない~~)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.newton.ac.jp/bgu/pdf/rikou.pdf>)

- (注) 1 項目は、1～6の項目により記入した事項以外で、認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- 2 記入事項は、原則として、設置認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- 3 「(3) 自己点検・評価等に関する事項」については、認可時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。また、「A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、積極的な評価を行う場合、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
記入方法は、欄内には(別紙のとおり)とし、A4版1枚程度で作成した別紙を添付してください。
なお、「B 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- 4 「(4) 情報提供に関する事項」の「①」及び「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合は、公表後の取扱いについて記入してください。